

学校教育目標

未来志向で考え行動・挑戦する児童の育成

研究主題

地域に問い、未来を拓く。課題解決に本気で挑む児童の育成

～問いを生む「本物との出会い」と、協働による「立ち止まり」を通して～

目指す児童像

自分で考えて
行動できる子

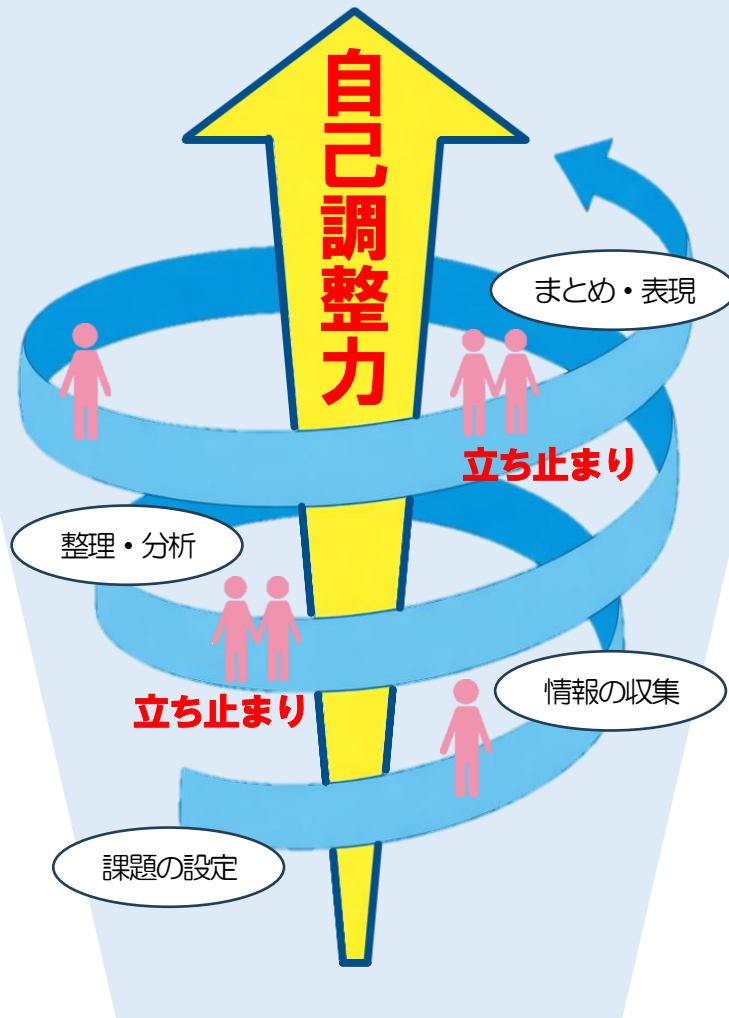
相手の立場を
理解し、互いに
協力し合う子

見通しをもって
挑戦する子

学校や地域を
愛する子

一人一台端末

- ①情報の収集
(多様な検索手段・データ集計)
- ②まとめ・表現
(目的に合った表現・相互評価)



立ち止まり

「整理・分析」「まとめ・表現」の時間に協働の場面を設け、課題解決の仕方や単元のゴールが適しているかを熟考させる。

- ①思考の深化と多角的な吟味
(論理的側面)
- ②粘り強く課題と向き合う
(心情的側面)
- ③次なる問いの創造
(創造的側面)

本物との出会い

- ①地域の課題や人々の思いに触れさせ、児童が当事者意識を持って「問い」を見付けられるようにする。
- ②ゲストティーチャーとの関わりにより、問いを更新できるようにする。

地域を題材にした単元開発

児童の実態把握・学級経営